

下蒲刈地区生活バス【令和3年4月1日再編実施】

1 再編までの取組

- 令和元年 11月 下蒲刈町の全世帯を対象に「下蒲刈地区生活バスに関するアンケート」の実施
 (11月12日(火)から12月10日(火)まで)
 配布数：660世帯・1,320枚
 回収数(回収率)：304枚(23.0%)
 協力：呉工業高等専門学校
- 令和2年 7月 アンケート結果の全世帯配布
 10月 実証実験の案内を全世帯に配布, 車両の小型化実施
 11月 実証実験実施
 ①デマンド運行(下島地区)
 ②フリー乗降(大地蔵地区)
 ③乗り放題運賃(定額運賃)
- 12月 実証実験に対するアンケートの実施
 配布数：660世帯, 回収数(回収率)：46枚(7.0%)
- 令和3年 2月 令和3年4月からの運行についての案内を全世帯に配布
 4月 運行開始(運行事業者：ひまわり交通株式会社)

2 再編内容

- (1) 路線定期運行の継続(デマンド運行の導入はなし)
- (2) バス停の新設(2か所：「下蒲刈病院」及び「コメリ」)
- (3) フリー乗降の実施(大地蔵地区)
- (4) 利用実態に応じた運行便数の適正化
 (平日▲4便(22便→18便), 土休日▲16便(16便→0便))



3 今後の取組

利用者の大半が大地蔵地区の住民であることから、今後、当該地区の住民との意見交換を行いながら、利用促進に努めるとともに、より利用しやすいものとなるよう、今後も改善を続けていきます。